



創価大学

創価大学
国際仏教学高等研究所

The International Research Institute for Advanced Buddhology
Soka University

〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236 1-236 Tangi, Hachioji, Tokyo, 192-8577, JAPAN
Office Phone: (+81-42)691-2695 Fax: (+81-42)691-4814
E-mail: iriab@soka.ac.jp URL: <http://iriab.soka.ac.jp/>

平成 29 年 6 月 19 日

御案内

第 78 回 国際仏教学高等研究所・仏教学懇話会
(平成 29 年 6 月 29 日)

方一新博士 (浙江大学教授)

『太子須大拏経』から古写経と刊本との対校を考察する」
(従《太子須大拏経》看寫経、刻経之對勘)

王雲路博士 (浙江大学教授)

「二つの中古漢訳仏典から古写経と刊本との対校の価値を考察する」
(従兩種中古佛經管窺寫経、刻経比勘之價值)

拝啓 梅雨の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、本研究所客員研究員としてご滞在中の方一新博士 (浙江大学人文学院教授、浙江大学中国語言文学系副主任、漢語言研究所所長、中国訓詁学会理事) と王雲路博士 (浙江大学人文学院教授、浙江大学古籍研究所所長、漢語史研究中心副主任、中国語言学会常務理事、中国訓詁学会副会長) のご夫妻を講師にお迎えして懇話会を開催することになりました。

お二人のご専門は、漢語の歴史で、仏典漢語を含む中古漢語の研究の権威です。お二人で、これまで『中古漢語語詞積』・『中古漢語読本』などを出版され、また漢語研究の専門学術誌『漢語史學報』を編集し、この分野を牽引してこられました。

まず方博士に『太子須大拏経』から古写経と刊本との対校を考察する」(従《太子須大拏経》看寫経、刻経之對勘) というテーマで、話をして頂きます。『太子須大拏経』という有名な物語を描いた経典を例にして、日本に残る古い写本と歴代の大蔵経刊本とを比較することの重要性について語られます。

その後、王博士に「二つの中古漢訳仏典から古写経と刊本との対校の価値を考察する」(従兩種中古佛經管窺寫経、刻経比勘之價值) というテーマで発表して頂きます。仏の伝記を記し



た『中本起経』と、仏の説示を偈頌にした『出曜経』という二つの古い漢訳を材料にして、敦煌写本と刊本大蔵経との比較・校勘についてお話ししていただく予定です。

なお当日は、日本語の梗概を準備し、通訳が付く予定です。

ご興味のある方はどなたでも自由にご参加頂けます。

参加ご希望の方は、予め本研究所までご一報下されれば幸いに存じます。

日時：平成29年6月29日（木） 午後1時30分～午後5時

場所：創価大学 中央教育棟 西棟12階 第8会議室

方一新教授・王雲路教授の共著

『中古汉语读本』方一新，王云路編著，上海教育出版社 2006.3 修订本

『中古汉语研究』王云路，方一新編，商务印书馆 2000.7

『中古汉语读本』方一新，王云路編著，吉林教育出版社 1993.12

『中古汉语语词例释』王云路，方一新著，吉林教育出版社 1992.7

『漢語史學報』浙江大學漢語史研究中心編，上海教育出版社 2002.5

方一新教授代表著作

『東漢疑偽佛經的語言學考辨研究』方一新，高列過著，人民文学出版社 2012.3 国家哲学社会科学成果文库，2011

『中古近代汉语词汇学』方一新著，商务印书馆 2010.11

『训诂学概论』方一新著，江苏教育出版社 2008

『東漢魏晉南北朝史書词语笺释』方一新著，黄山书社 1997.10

王雲路教授代表著作

『汉语语义演变研究』吴福祥，王云路編，商务印书馆 2015.10

『中古诗歌语言研究』王云路著，世界图书出版 2014.6

『漢語詞彙核心義研究』王雲路，王誠著，北京大學出版社 2014.4

『荀子选译』荀子〔著〕；雪克，王云路译注，凤凰出版社 2011.5 修订版 古代文史名著选译丛书

『中古漢語論稿』王雲路著，中華書局 2011.7 浙江大學古籍研究所中國古典文獻學研究叢書

『中古汉语词汇史』王云路著，商务印书馆 2010.1

『新譯司馬法』王雲路注譯，三民書局 2007.5 2版 古籍今注新譯叢書

『词汇训诂论稿』王云路著，北京语言文化大学出版社 2002.7 中青年语言学者文丛

『六朝诗歌语词研究』王云路著，黑龙江教育出版社 1999.8

『汉魏六朝诗歌语言论稿』王云路著，陕西人民教育出版社 1997.11

『新譯司馬法』王雲路注譯，三民書局 1996.2 古籍今注新譯叢書

『新譯吳子讀本』王雲路注譯，三民書局 1996.2